

事業の方向性（案）	事業メニュー（案）	概要（案）	実施主体（案）							スケジュール（案）						
			香芝市	国・県	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	市民・地元	その他	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	長期	
I 既存の地域公共交通サービスの改善	I-1 面的な地域公共交通サービスの維持・改善	・各交通主体の役割を明確にし、コミュニティバス、デマンド交通の運行体系を見直す。	実施	支援	-	-	-	-	-	-	-	実証運行	本格運行	⇒	⇒	⇒
		・個々の既存の鉄道、路線バス、タクシーサービスを維持する。	支援	支援	実施	実施	実施	-	-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	I-2 観光客の周遊促進	・休日限定でコミュニティバス運行経路の一部を観光施設に乗り入れる。	実施	支援	-	-	-	-	-	検討	⇒	整備	⇒	⇒	⇒	⇒
	I-3 鉄道&バス、鉄道&タクシー、バス&タクシーの相互利用を支える拠点整備	・各交通主体が連携し、それぞれの特徴を活かした補完が促進されるよう、拠点施設の待合環境の改善を図る。	実施	支援	協力	協力	協力	-	-	検討	⇒	整備	⇒	⇒	⇒	⇒
	I-4 バリアフリー化	・鉄道駅のバリアフリー化を推進する。	支援	支援	実施	-	-	-	-	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	実施
	I-5 シームレス化の促進 （支払い方法の工夫など）	・各種交通主体におけるキャッシュレス決済、デマンド交通の事前決済等、事業者や利用者のニーズに合った支払方法を導入する。	実施	支援	-	-	(実施)	-	-	検討	⇒	導入	⇒	⇒	⇒	⇒
	I-6 地域特性に対応したバス車両の導入	・コミュニティバス車両の老朽化をふまえ、地域特性に対応したバス車両を導入する。	実施	支援	-	-	-	-	-	導入	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
I-7 手段ごとの役割に応じた多様な料金設定	・持続可能なサービスの提供を目指すうえで、各交通主体の料金体系のバランスを考慮し、コミュニティバスやデマンド交通の料金体系を見直す。	実施	支援	-	-	-	-	-	検討	⇒	見直し	⇒	⇒	⇒	⇒	
II 既存の地域公共交通サービスの柔軟かつ多様な活用	II-1 タクシーサービスの使いやすさの向上	・公共施設や商業施設、観光拠点において、タクシーが待機しやすいスペースや環境を確保する。	実施	-	-	-	協力	協力	協力(施設)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
	II-2 タクシー車両の多様な活用による利用促進（域内交通）	・マタニティタクシー、子育て応援タクシー、買物支援タクシーの導入、高齢者のタクシー定期券の配布など、タクシーサービスの多様化による利用促進を図る。	支援	-	-	-	実施	-	協力(施設)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
III 多様な媒体を使った情報発信	III-1 広報紙やホームページを使った地域公共交通に関する情報発信	・広報紙の紙面やホームページにより、幅広いターゲットを対象とした情報発信を行う。	実施	-	-	-	-	協力	-	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	III-2 利用促進策の実施	・利用促進を図るべきターゲットを明確にし、コミュニティバスについてお試し乗車割引券配布等の利用促進策を行う。	実施	-	-	-	-	-	-	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	III-3 モビリティ・マネジメントによる意識醸成	・情報発信とともに、教育機関や公共施設と連携し、地域公共交通に関心を持ってもらう場を設ける。	実施	支援	協力	協力	協力	-	-	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
IV それぞれが主体性を持った移動サービスの支援体制の構築	IV-1 地域や利用者による運行への協力（利用促進、バス停付近の美化など）	・バス停の美化、待合環境の整備、住民が使いやすいバス停設置に向けた検討や地権者との調整など、気持ちよく地域公共交通が利用できる環境を、住民自ら創造する。	支援	-	-	協力	-	実施	-	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	IV-2 担い手確保に向けた情報発信	・ホームページにより、バスやタクシードライバーの確保に向けた情報発信を市内外に行う。	実施	支援	-	連携	連携	-	-	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒